

各法人（事業所）の長の皆様へのお願い

認知症介護実践リーダーに、毎年、定員を上回ってお申し込みいただいておりますが、受講生本人や事業所の御都合で、研修直前又は研修期間中に受講を辞退される方がおられます。

各法人（事業所）の長の皆様におかれましては、組織内の異動等の理由により受講直前や研修期間中に辞退されることがないように、受講希望者をよく選考のうえお申し込みください。また、受講者決定後は、当該受講者が研修に集中できるよう、研修期間中の職務環境に御配慮くださいますようお願いいたします。

平成28年度京都市認知症介護実践研修 実践リーダー研修募集要項

1 目的

高齢者介護実務者及びその指導的立場にある者に対し、認知症の方の介護に関する実践的研修を実施することにより、認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成し、もって認知症の方に対する介護サービスの充実を図ることを目的とします。

2 開催回数・定員

年1回 30名

3 研修内容

別紙「認知症介護実践リーダー研修日程表」参照

4 受講資格

次の全ての条件を満たす者としてします。

(1) 対象者

- 京都市内の介護保険施設・事業所等で認知症介護に携わる介護職員であること。
- 介護実務経験が5年以上であること。
- 施設・事業所等においてケアチームのリーダー（リーダーになることが予定される者を含む。）であること。
- 認知症介護実践者研修を修了し1年以上経過している者であること。

※ 次の者は受講対象となりません。また、研修受講中に離職又は京都市外の施設へ職場が異動になった場合も修了できません。御注意ください。

- ・ 平成27年度認知症介護実践者研修の修了生【修了後1年に満たないため】
- ・ 旧認知症介護実務者研修（専門課程）修了生【本研修を修了したものとみなされるため】

(2) すべての講義・演習・他施設実習・職場実習に出席することができる者

※ 理由の如何に関わらず、主催者側の都合によらない欠席、遅刻及び途中退席は認めません。

(3) 経費

研修の受講に当たり、次の経費を負担することができる者

ア 受講料

15,000円

なお、下記テキストの購入を希望する者は、別途負担が必要です。

- 第2版 新しい認知症介護 実践リーダー編 2,808円
- 改訂 センター方式の使い方・活かし方 3,672円
- センター方式 ーシートパッカー 500円

イ 受講に当たり必要となる食費・交通費など一切の経費

【研修会場】

講義・演習 「ひと・まち交流館 京都」会議室（下京区河原町通五条下る東側）

電 話：（０７５）３５４－８８２２

アクセス：京都市バス４系統，１７系統，２０５系統「河原町正面」下車 すぐ

京阪電車「清水五条」下車①番出口より徒歩約８分

市営地下鉄烏丸線「五条」下車⑤番出口より徒歩約１０分

他施設実習 実習先は研修開始後に通知

職 場 実 習 所属施設・事業所

5 申込方法

(1) 申込書類

下記書類に必要事項を記入のうえ、郵送もしくは御持参ください。 FAXでの申込は受け付けません。

○ 実践リーダー研修申込書

○ 受講選考レポート（受講申込者用 １枚）

○ 受講選考レポート（所属長・施設長等用 １枚）

* 受講申込者ひとりにつき１枚を提出

* 受講選考レポートの内容は受講決定審査の対象となります。

* 受講選考レポート（所属長・施設長等用）の記載者については、受講申込者と所属長等が同一人物の場合は、法人等の組織内で上司に該当する方が記入してください。

○ 修了証書の写し（京都市以外で認知症介護実践者研修を修了された方のみ）

(2) 申込先

京都市長寿すこやかセンター（社会福祉研修・介護実習普及センター）担当：田中・横田
〒６００－８１２７

京都市下京区河原町通五条下る東側「ひと・まち交流館 京都」４階

電 話（０７５）３５４－８８２２

(3) 受付期間

平成２８年３月２９日（火）～平成２８年５月１０日（火）１７時半 必着

* 認知症介護実践者研修と申込先は異なりますので御注意ください。

6 受講者の決定

上記４の受講資格を有する者が定員を上回って受講を希望する場合、応募書類等を選考の上、平成２８年６月３日（金）までに受講の可否について文書により通知します。（選考基準や選考結果等の問い合わせには一切応じません。）

7 研修目標と修了要件

(1) 研修目標

【講義・演習】

認知症の人の立場に立ち、認知症の人が望む暮らしを支援するために、多様な視点で認知症の人の状態やその人を取り巻く環境をとらえる力を身に付けます。また、介護現場においてリーダー的立場に立つ者に必要な知識・技術を習得します。

【他施設実習】

講義による倫理学習や演習による思考の訓練と習得した知識や技術を基にして、利用者の生活の場面でともに時間を共有し、より専門的な感性と能力を磨くことに繋がります。

【職場実習】

リーダーとして現場に伝えていくこと、現場職員の気づきや学びを引き出していくことを学びます。現場職員とともに、認知症の人の立場に立った思いや願いを言語化し、その思いに沿ったケアプランを考え、ケアを実践し、評価します。

また、その取組をとおして、現場職員の気づきやスタッフの力を引き出すリーダーとしての自分自身の振り返り、職場実習を通してわかったケアチームの課題をリーダーとして適切な表現でまとめ、発表し、他の受講生や講師と意見交換するとともに、学びや気づきを共有します。

(2) 修了要件

ア すべての講義・演習・他施設実習・職場実習に出席すること

(理由の如何に関わらず、主催者側の都合によらない欠席、遅刻及び途中退席は認めません。)

イ 講義・演習等をとおして、受講生自身の気づきや学びをまとめた講義記録等のレポートや課題を期日内にすべて提出していること。

ウ 現場職員とともに課題に取り組み、認知症の人の立場で思いや願いを言語化し表現することができること、現場職員の気づきや学びをまとめることができること。

エ 現場職員とともに認知症の人の立場に立って自施設の介護現場の現状を振り返り課題を整理することができること、現場職員の気づきや学びをまとめることができること。

オ 現場職員とともに取り組んだ(ウ)、(エ)について、リーダーとして適切な表現でまとめ、発表することができること。自他の発表の中で、自分が感じたことや考えたことを他の受講生や講師等に伝え、意見交換ができること。

カ 研修をとおして、リーダーとしてふさわしい態度、振舞を身につけていること。

※受講期間中に、研修受講者としてふさわしくない態度・行動があると認められる場合は、受講の取消しや修了を認めない場合があります。

8 修了証書

全日程を受講し、修了要件を満たされた方に、京都市長から修了証書を交付します。

9 留意点

(1) 申込について

申込は事業所種別毎に行ってください(実践者研修は法人毎となっております。)

郵送又は持参にかかわらず、書類受取時に申込書類の確認は行いませんので、必ず記入漏れや書類の不足等がないようお願いします。提出書類に不備・不足があった場合は、申込みを受け付けたことにはなりませんので御注意ください。

(2) 受講に当たって

ア 受講決定者の辞退について

受講決定者が受講できない状況になった場合は、速やかに京都市長寿すこやかセンター(社会福祉研修・介護実習普及センター)まで連絡してください。この場合において、他の者が代理受講することはできません。

イ 認知症介護実践リーダー研修の職場実習及び同意書取得について

職場実習は、受講生が所属されている職場で取り組みます。職場でかかわりのある認知症の方をひとり選んでいただき、本人やその家族から職場実習のための同意書を取得いただいたうえで、上司や職場関係者の協力のもと、受講生が職場実習に取り組むものです。そのため、申込の際には、①認知症と診断されている方を選定し、②同意書の取得（職場実習開始の前日までに。同意書がない場合は受講継続不可）が可能か、③一定期間の実習が可能か御検証のうえ、お申し込みください。

（同意書の様式等は、後日長寿すこやかセンターのホームページに掲載します。）

③の職場実習については、通常業務と並行して取り組んでいただいで結構です。

ウ 課題レポート等の提出物について

次の提出物については、必ず指定する期限内に提出してください。期限内に提出がない場合は、その時点で受講の取消し又は修了を認めない場合があります。また、受講取消又は研修未修了者が、次年度以降に再度申し込みされた場合、選考から除外する場合があります。

- ① 受講決定後の課題レポート
- ② 講義記録や課題等
- ③ 研修終了後の事後レポート

10 問い合わせ先

京都市長寿すこやかセンター（社会福祉研修・介護実習普及センター）

研修担当：田中・横田

住 所：〒600-8127

京都市下京区河原町通五条下る東側「ひと・まち交流館 京都」 4階

電 話：(075) 354-8822